

今月、WAY で学んだ生徒の一人が、University College London (UCL) の物理学科へ進学することになりました。IB は 40 点以上、IELTS は 8.0 です。

この生徒には、もともとどこか鋭さがありました。まだ入会時にはその力が目覚めてはいなかったのですが、物事をそのまま受け取るのではなく、背後にある関係や構造を捉えようとする感覚がありました。

指導では、彼の個性である、その鋭さを大切にしてきました。

英語では、まず語彙と文法を訓練し、英語の土台を作りました。その上で、英語の読解に入り、論理と構造で読む仕方を教えました。また、日本語コースでは、野矢茂樹『論理トレーニング 101 題』を使い、議論の骨格を捉え、論証を吟味する力を鍛えました。

物理・数学では彼の強みである抽象的な思考力が、英語の長文ではその論理構造を見抜く力が、また日本語で鍛えた論証力が、いつしか、この生徒の中でつながっていき高い学力となっていました。

私は、この生徒を見ていると、WAY で育てたいものの一つが、見える気がします。

英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブローケンな英語のまま放置されています。それは、まるで液状化した土地に建物を建てていることに似ています。WAY では、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTS の教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTS の読解を通して、TOEFL の点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上（今年は 45 の生徒が出ました）が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL 100~110 点以上を目指しています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用 (IB レベル) までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成員を持った論文が書けるようになります。（このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。）論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。